

1-6 木製治山ダム工（オールウッド）

特徴

バタ角材（四面落とし）を1段ずつ交互に組み合わせた構造の木製ダムである。
木材の使用量が多く、比較的利用度の少ない36上材を有効利用できる。

施工場所

溪床勾配が比較的緩く、土石流が発生する可能性が少ない小溪流
抑止する不安定土砂の高さが比較的低い溪流
点検及び撤去・更新が可能な箇所
常水のある溪流

施工方法

バタ角材の縦木と横木を1段ずつ交互に隙間なく並べる。
並べた部材をラグスクリューと異形棒鋼で連結する。
上記の繰り返しでダム天端まで立ち上げる。



完成写真

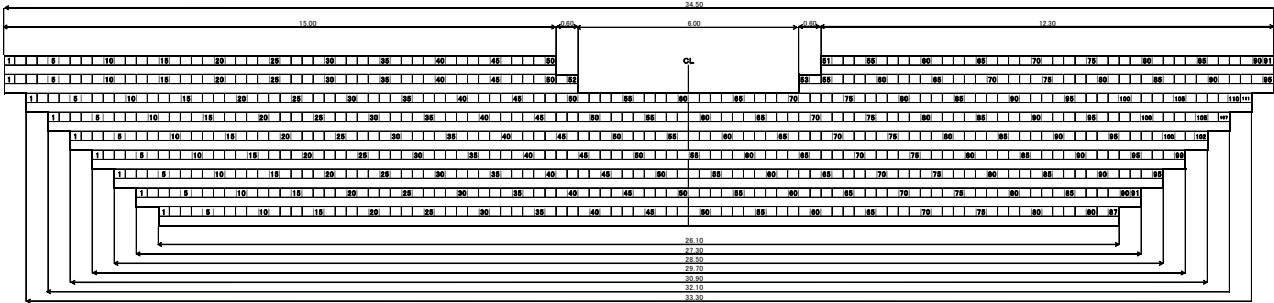


施工写真

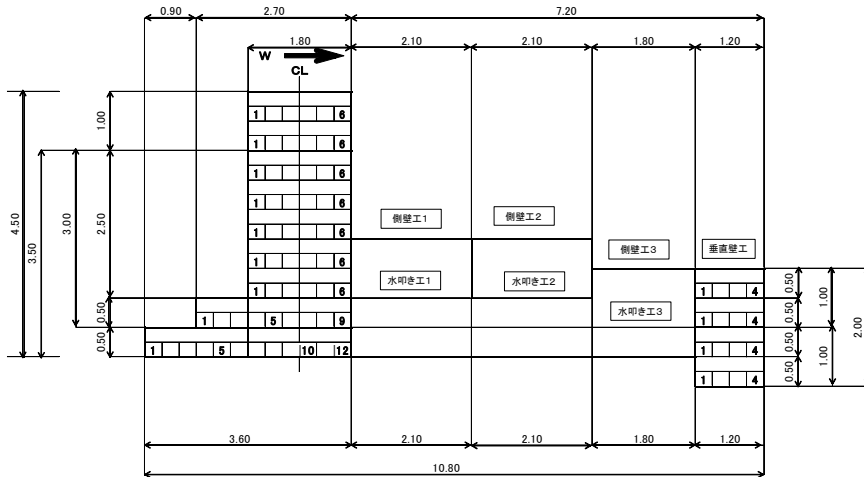
施工地：秋田県鹿角市八幡平字沢地内
事業名：予防治山事業
施工主体：秋田県

標準図 (単位: m)

正面図



断面図



材料・歩掛表

(10本当たり)

名称	形状・寸法	単位	L=0.6m	L=1.5m	L=2.1m	L=2.4m	L=2.7m	L=3.6m
土木一般世話役		人	0.06	0.08	0.09	0.10	0.11	0.13
普通作業員		〃	0.07	0.20	0.25	0.30	0.35	0.45
トラックレーン	4.8~4.9 t 吊	日	—	0.14	0.21	0.28	0.35	0.49
ラグスクリュー	φ16mm L=450mm	30cmピッチの千鳥配置						
異形棒鋼	D16 L=450mm							